

和地ひとみレポート No.40

平成24年度がスタート。今年度は尾崎市長が組んだ初の予算



■尾崎市政初の予算

…3月の定例会中に開催された予算特別委員会で発表された予算案は、尾崎市長が一から組んだ初めての予算です。予算特別委員会では、全議員で平成24年度の予算案を審議、不明点などについては行政側に質問し、予算の意図を確認しました。特に、今回の予算については、尾崎市長の政策が予算に反映されているかが大きなポイントとなりました。行政サービスは基本的に維持しなければならないものも多いのは事実で、大きく舵は切れないものの、昨年の選挙で選出された尾崎市長ならではの色が出なければ、新市長が選ばれた意味が薄れます。…長い審議の後、今回の予算案は賛成多数で可決。和地ひとみの所属する会派、民主党も賛成しました。ただし、予算についての討論において民主党は『「あれかこれか」の視点をもっと推し進めること、更なる歳入の確保や徴税努力による収納率の向上、個人並びに世代間の不公平感を助長するような施策の再考』を要求しました。

■ 予算の全般的事項と優先施策は

…今回の予算を組むにあたっての全般的事項として市長より表明された点は以下の通りです。

1：開かれた市政の実現をめざし、情報公開と説明責任の徹底を図り、施策形成過程の透明性を確保する中で、市民生活の向上につながる予算を編成すること。

2：持続可能な市政を実現するために「あれかこれか」という視点から事業を見直すとともに費用対効果の分析を行い、あわせて「東大和市行政改革大綱」及び「東大和市実施計画」における取り組みを着実に実施し、主

要事業など新たな行政課題に対応するための財源を確保すること。

3：全職員一丸となって積極的に歳入の確保に取り組むとともに、事業の実施にあたっては、より一層の効率化を図ること。

また、今年度の優先施策は以下の通りです。

- ① 地域における防災体制の強化
 - ・地域防災計画の策定にかかる経費 13,636千円
 - ・施設の耐震化の推進 34,430千円
- ② 東大和市の魅力を積極的に発信するための観光事業の推進
 - ・魅力あるイベントの開催 6,708千円
 - ・ちょこバスの利便性を目指しての検討 619千円
 - ・プレ国体の開催にあわせた事業の実施 26,362千円
 - ・(仮)東大和郷土美術園整備に向けた準備 35,274千円
- ③ 学校給食施設に対する取組みの推進
 - ・新たな建設に向けた準備 1,738千円

■ この予算をどのように活用するのか

…これらの方針、施策を盛り込んだ予算は一般会計26,907,000千円。その他、国民健康保険事業などの5特別会計を合わせた合計予算は43,957,857千円（昨対+0.4%、+187,237千円）。主な歳入である市税収入は昨対△3.2%であるにも関わらず、歳入がプラスになるのは交付税の見込みと財産収入、市債が大幅にアップしたためです。また、歳出においては、生活保護費などの民生費が大きくアップしていることも今後、対策が必要な課題です。予算の段階では事業の詳細までは見えませんが、予算の多寡が市政の現実、また方針の表れです。今後は、今回可決された予算が効果的に活用されているか、内容、取り組み方に注視していきます。

【歳入】 (千円)

	金額	割合
市税	11,617,239	43.2%
国庫支出金	4,735,974	17.6%
都支出金	4,030,421	15.0%
地方交付税	2,150,000	8.0%
市債	1,723,380	6.4%
地方消費税交付金	812,744	3.0%
分担金及び負担金	336,340	1.2%
繰入金	283,416	1.0%
諸収入	270,353	1.0%
繰越金	250,000	0.9%
使用料及び手数料	218,758	0.8%
地方譲与税	159,450	0.6%
財産収入	42,569	0.2%
その他交付金など	276,356	1.1%
合計	26,907,000	100.0%

【歳出】 (千円)

	本年度予算	前年度当初予算との差
議会費	335,840	△ 30,622
総務費	2,331,286	△ 199,216
民生費	14,482,403	157,675
衛生費	2,154,281	△ 2,850
労働費	3,020	△ 280
農林業費	51,236	△ 4,483
商工費	96,310	4,077
土木費	1,732,825	△ 23,589
消防費	1,148,376	46,768
教育費	2,613,969	72,277
交際費	1,931,050	△ 91,957
諸支出金	6,404	200
予備費	20,000	0
合計	26,907,000	△ 72,000